

コンゴ(民)月例報告
政治関連
2019年3月

主な出来事

- 2日、チセケディ大統領は「最初の100日間の緊急プログラム」と題する事業計画を発表した。また、10日以内に政治犯への恩赦を行うと約束した。
- 4日、ナージュ米國務次官補(アフリカ担当)は、昨年12月30日の選挙に関し、「コンゴ(民)のこれまでの選挙で最高のものであった」と述べた。
- 15日、上院議員選挙の投票が行われた。多数派議員プラットフォーム FCC は上院議席の三分の二を獲得したと発表する一方で、チセケディ大統領の UDPS は、支持基盤のキンシャサ州で擁立した候補4名全員が落選した。
- 16日、北キブ州ブテンボ市のエボラ治療センター(CTE)が新たな襲撃を受け、警察官1名が死亡、医療従事者1名が負傷した。
- 18日、チセケディ大統領は上院議員選挙の結果を受け、選出された上院議員の就任の一時中断、27日に投票が予定されている州知事・副州知事選挙の無期限延期及び、贈収賄にかかわった者に対する調査開始の3点を決定した。
- 19日、チセケディ大統領は、国家情報局(ANR)の長官の交替を発表した。
- 21日、米財務省は、CENI 幹部3名(ナンガー委員長、バセンゲジ副委員長、ムコロ顧問)に対して経済制裁を発動した。
- 21-23日、野党プラットフォーム Lamuka はブリュッセルで指導者会議を開催した。
- 22日、CENI は、無期限の延期となっていた州知事・副州知事選挙を4月10日に行うと決定した。
- 24日、チセケディ大統領は第7回アフリカ CEO フォーラム出席のため、ルワンダを訪問した。
- 31日、昨年12月30日の投票が延期されていた北キブ州及びマイ=ンドンベ州の4選挙区で、国民議会選挙及び州議会選挙の投票が行われた。

1. 内政

(1)チセケディ大統領の緊急プログラム発表

・2日、チセケディ大統領は、キンシャサ市のリメテ・インターチェンジ広場に政府関係者及び外交団等を招集し、「最初の100日間の緊急プログラム」と題する事業計画を発表した。チセケディ大統領はまた、10日以内に、すでに判決が下された政治犯に対する恩赦と、選挙に関連した抗議行動等で拘束されているすべての人々の条件付釈放の手続きを行うと約束した。

(2)国民議会議員に当選した現職閣僚の処遇に関する国務院の決定

・4日、国務院(Conseil d'Etat)が1日に行った、昨年12月30日の選挙で国民議会議員に当選した閣僚は「政府における職務を行えない」とする決定が発表された。

・5日、チバラ首相は、国務院による右決定を受け、23の大臣及び政府事務局長ポストの代行を決定した。3つの副首相ポストに関し、外務大臣(シェ・オキトゥンドゥ)代行はタンブエ司法大臣が、内務・治安大臣(モヴァ)代行はオロンゴ内務副大臣が、運輸大臣(マキラ)代行はルベルワ地方分権大臣が務める。また7日には、代行する大臣との引継ぎが行われた。

(3) FCC と CACH の連立

・6日、議会多数派プラットフォーム FCC と、チセケディ大統領陣営のプラットフォーム CACH は、連立政府を組むこと及び、FCC 側が「Formateur(当館注:組閣作業を行う人物で、そのまま首相に就任する可能性が高い)」を決定すること等に関する共同コミュニケを発表した。

(4) 欧州査証センター(旧メゾン・シェンゲン)の再開

・6日、2月22日に署名されたメゾン・シェンゲン再開の合意に基づき、「C.E.V. (Centre Europeen des Visas, 欧州査証センター)」が正式にオープンした(6日付 Actualite.cd)。

(5) 大統領府人事

・7日、チセケディ大統領は、大統領府人事に関し、すでに1月25日付大統領令で任命されたカメレ官房長とコロングレ副官房長に加え、追加の副官房長、特別顧問及び筆頭顧問等を任命する大統領令に署名した。副官房長はこれまでの1名から4名、特別顧問は3名から9名、筆頭顧問は8名から15名と、大幅な人員増加となった。

(6) ギゼンガ PALU 党首の葬儀

・10日、2月24日に死去したギゼンガ PALU 党首(Antoine GIZENGA, 元首相)の葬儀がキンシャサ市の国会議事堂(Palais du Peuple)で行われ、チセケディ大統領及びカビラ前大統領等が参列した。

(7) 政治犯の釈放及び大臣・国営企業幹部の職務停止の決定

・13日、カメレ大統領府官房長は国営テレビ・ラジオ局(RTNC)の生放送で、フランク・ディオongo MLP 党首、フィルマン・ヤンガンビ弁護士及び、ディオミ DC 党首を含む政治犯等の釈放に関するチセケディ大統領の決定事項を伝えた。また同時に、ルメヤ土地問題大臣及び数名の国営企業幹部の職務停止を発表した。

・15日にヤンガンビ弁護士、16日にはディオongo MLP 党首がキンシャサ市のマカラ中央刑務所から釈放された。

・18日、ムンバ国営企業大臣は、13日のチセケディ大統領の決定で職務停止とされたムココ SCTP 総裁及びペレテ副総裁の代行として、ラヤ総裁代行及びモリシヨ副総裁代行を指名する省令に署名した(20日付 ACP)。

(8) 上院議会選挙の暫定結果発表及びその後の動き

・15日、国内26州のうち24州で上院議員選挙(当館注:州議会議員による間接投票)の投票が行われた。カビラ前大統領が Autorite Morale(倫理的権威)を務める多数派議員プラットフォーム FCC はコミュニケで、FCC は上院議席の三分の二という圧倒的過半数を獲得したと発表した。なお、チセケディ大統領の UDPS は、支持基盤のキンシャサ州で擁立した候補4名全員が落選した。

・18日、チセケディ大統領は15日に投票が行われた上院議員選挙の結果を受けて制度間会議を招集し、選出された上院議員の就任の一時中断、27日に投票が予定されている州知事・副州知事選挙の無期限延期及び、贈収賄にかかわった者に対する調査開始の3点を決定した。

・18日、FCC 及び PPRD は制度間会議での決定事項に対するコミュニケで、「制度間会議は決定を行う権限がなく、勧告を行うものである」として、これら決定を拒否した。

・28日、チセケディ大統領は、上院議員選挙での贈収賄に関する破毀院検事長等による予備調査報告書を受け、15日の上院議員で選出された議員に対する就任の一時中止指示を解除し、4月1日から登院することを決定した。

(9) 国家情報局(ANR)長官の交替

・19日、チセケディ大統領は、国家情報局(ANR)の長官を、カレフ長官から、現在副長官を務め

るインズン(Justin INZUN KAKIAK)に交替すると発表した。カレフ長官は米及び EU から制裁を課されている(20日付 RFI)。

(10) 延期されていた4選挙区の選挙実施

・31日、昨年12月30日の国民議会選挙及び州議会選挙の投票が延期されていた北キブ州のベニ選挙区(8議席)、ベニ市(2議席)及びブテンボ市(4議席)、及び、マイ＝ンドンベ州ユンビ選挙区(1議席)で投票が行われた(カッコ内は国民議会の議席数)。

(11) 議会多数派プラットフォーム FCC の動向

ア PPRD 選出国民議会議員及び州議会議員の顔合わせ

・2日、ラマザニ・シャダリ PPRD 常任書記は、昨年12月30日の選挙で PPRD から選出された国民議会議員(116名当選)及び州議会議員(156名当選)の顔合わせを行った(2日付 PPRD ツイッター)。

イ FCC 選出国民議会議員の顔合わせ

・3日、ムウイラニャ FCC 調整役(元大統領府官房長)は、昨年12月30日の選挙で FCC から選出された300名以上の国民議会の顔合わせを行った(3日付 FCC ホームページ)。

(12) 野党の動向

ア ファユル ECiDe 党首の動向

・6日、昨年12月30日の大統領選挙で落選したファユル ECiDe 党首は、今後5年間の政治的展望に関する AFP の問いに対し、「自分は共和国大統領に選出されており、自分自身を大統領とみなしている。大統領は国民議会議員とはなれない」と述べた。また、ファユル氏の主要な支持者のひとり AFP に対し、「ファユル氏は国民議会事務局に対し、キンシャサ市の選挙区での議席を占めない」との文書を送ったと伝えた(6日付 AFP)。

イ 野党プラットフォーム Lamuka の動向

・21-23日、野党プラットフォーム Lamuka はブリュッセルで指導者会議を開催し、同プラットフォームを選挙のための連合から政治プラットフォームに変革する可能性を調査すること等を決定した。

(13) 独立国家選挙委員会(CENI)の動向

ア 州知事・副州知事選挙立候補者の最終名簿発表

・12日、CENI は、州知事・副州知事選挙立候補の不受理に対する異議申立てに関する控訴院の決定を受け、立候補者の最終名簿を発表した(当館注:同コミュニケによると、控訴院への異議申立て44件に対し、33件が受理可能、11件が不受理と判断された)。州知事・副州知事選挙が行われるのは国内26州のうち24州(当館注:昨年12月30日の選挙が一部で今年3月31日に延期された北キブ州及びマイ＝ンドンベ州を除く)で、最も多いチヨポ州では13名、キンシャサ特別州では9名が立候補した。サンクル州での立候補者は1名のみ(当館注:メンデ前メディア大臣兼政府報道官)である。

イ 新たな州知事・副州知事選挙日程の発表

・22日、CENI は、18日に開催された制度間会議(reunion interinstitutionnelle)の場で無期限の延期が決定されていた州知事・副州知事選挙に関し、新たな投票日を4月10日にする等の決定を行った。

2. 外交

(1) チセケディ大統領及びカメレ大統領府官房長のルワンダ訪問

- ・12日、チセケディ大統領の親書を携えたカメレ大統領府官房長はキガリを訪問し、カガメ大統領と会談した(12日付大統領府ツイッター)。
- ・24日夜、チセケディ大統領は25-26日に開催される第7回アフリカ CEO フォーラムのため、キガリに到着した。同大臣は25日にはキガリの虐殺記念館を訪れた(23日付大統領府 Facebook 等)。

(2)チセケディ大統領のナイロビ訪問

- ・13日-14日、チセケディ大統領は第4回国連環境総会出席のためナイロビを訪れた(13日付大統領府ツイッター)。
- ・13日夜、チセケディ大統領は訪問先のナイロビで、ケニヤッタ・ケニア大統領及びマクロン仏大統領と三者協議を行った。協議の席上ケニヤッタ大統領とマクロン大統領は、チセケディ大統領に対し、カビラ前大統領側からの自立を促した(14日付 AFP)。

(3)チセケディ大統領とナージュ米国務次官補(アフリカ担当)の会談

- ・15日、13日からコンゴ(民)を訪れていたナージュ米国務次官補(アフリカ担当)はチセケディ大統領と会談した(15日付大統領府ツイッター)。

(4)チセケディ大統領とニヤシンベ・トーゴ大統領の会談

- ・15日、キンシャサを訪問中のニヤシンベ・トーゴ大統領はチセケディ大統領と会談した(15日付大統領府ツイッター)

(5)チセケディ大統領と欧州対外活動庁アフリカ総局長の会談

- ・21日、キンシャサを訪問中のヴェルバーク欧州対外活動庁アフリカ総局長(Koen VERVAEKE)はチセケディ大統領と会談し、ヴェルバーク局長はチセケディ大統領への支援を表明した(22日付 ACP)。

(6)チセケディ大統領のウガンダ訪問

- ・22日、チセケディ大統領はウガンダを訪問し、ムセヴェニ大統領と会談した(22日付大統領府ツイッター)。

(7)チセケディ大統領のアンゴラ訪問

- ・23日、チセケディ大統領は、第31回中部アフリカ解放記念式典に参加するためアンゴラのクイト・クアナヴァレを訪れた。

(8)チセケディ大統領のモロッコ訪問の情報

- ・27日-30日、チセケディ大統領はモロッコを私的に訪問した。訪問中はラバトの軍病院で検査を受けた模様(4月1日付 Jeune Afrique)

3. 東部及び大湖地域情勢

(1)南キブ州で国軍兵士が民兵6名を殺害

- ・3日、カセレカ南キブ州コンゴ(民)国軍(FARDC)報道官は、2日にカフロ村で発生した同州フィジ地区オー＝プラトーで活動する Ebwela Mutetezi Kibukila 率いる武装勢力と FARDC の交戦で、民兵6名が死亡したと報じた。同武装勢力はマイマイ・ヤクトウンバ(Mai-Mai Yakutumba, マイマイは自警団的な性格をもった武装集団)に所属していたが、1月末に約300名の民兵を連れて FARDC 側に降伏していた。FARDC 報道官によると、これら民兵は降伏後も市民への略奪等を行

っていた(3日付 RFI)。

(2)北キブ州ゴマ市の治安悪化

- ・3日, 同日未明にゴマ市で市民5名及び軍人1名が武装した何者かに銃殺された。これに対し, 市民が同市へ入る幹線道路にバリケードを築いて抗議した(3日付 AFP)。
- ・5日, 同日未明にゴマ市で新たに4名の市民が武装した何者かによって殺害された(5日付 Actualite)

(3)北キブ州ヴィルンガ国立公園のレンジャー殺害

- ・8日, 北キブ州のヴィルンガ国立公園はコミュニケで, 同公園のレンジャー1名が殺害されたと報じた。事件が起こったのは, 同公園内で多くの武装勢力が存在するルチュル地区ヴィシュンビ(Vitshumbi)近くで, 同公園は2月中旬から, 中止していた観光客への開放を再開したばかりであった。

(4)北キブ州ブテンボ市のエボラ治療センター(CTE)襲撃

- ・16日早朝, 北キブ州ブテンボ市のエボラ治療センター(CTE)が新たな襲撃を受け, 警察官1名が死亡, 医療従事者1名が負傷した。同センターは2月27日も襲撃を受けたため活動を中止したが, 今月4日から再開していた。

4. その他

(1)仏メディアによるナージュ米国務次官補へのインタビュー

- ・4日, アフリカ及び欧州の歴訪を開始したナージュ米国務次官補(アフリカ担当)は, パリで Jeune Afrique 及び RFI のインタビューに応じ, 昨年12月30日に投票が行われた選挙に関し, 「今回の選挙は, コンゴ(民)のこれまでの選挙で最高のものであった」と述べた(4日付 Jeune Afrique)。

(2)マイ＝ンドンベ州ユンビの部族紛争に関する国連報告書

- ・12日, 国連人権合同事務所(UNJHRO)は, 昨年12月16-17日にマイ＝ンドンベ州ユンビ地区で発生したバヌヌ族(Banunu)とバテンデ族(Batende)間の部族紛争に関し, MONUSCO が今年1月17日から26日の間に実施した調査の報告書を発表した。両部族の紛争は, バヌヌ族が, 彼らの伝統的首長(chef coutumier)をバテンデ族の土地に埋葬したことに対し, バテンデ族が報復としてピストルや銃等を用い, バヌヌ族を大量虐殺したもので, 少なくとも535名が死亡, 111名が負傷した。これに加え, 教会や学校を含む967軒以上の建物が略奪及び破壊された(12日付 AFP)

(3)ローコック人道問題担当国連事務次長兼緊急援助調整官のコンゴ(民)訪問

- ・18日, ローコック人道問題担当国連事務次長兼緊急援助調整官はユニセフ及び赤十字連盟代表とともにチセケディ大統領と面談した(18日付大統領府ツイッター)。

(4)米による GENI 幹部への経済制裁

- ・21日, 米財務省海外資産管理室(OFAC)は, 2月に米国務省により米国への入国を禁止された5名のうち, 独立国家選挙委員会(GENI)幹部3名(ナンガー委員長, バセンゲジ副委員長, ムコ顧問)に対して経済制裁を発動したと発表した。

(5)EU がボシャブ元副首相兼内務大臣等による制裁に関する申立てを却下

- ・26日, 欧州司法裁判所は, EUによる制裁に関し, ボシャブ元副首相兼内務大臣を含む8名のコンゴ(民)人(メンデ前メディア大臣兼政府報道官及びラマザニ・シャダリ PPRD 常任書記等)が2017年5月に提出した EU への申立てを却下する判決を行った。